

# 自由と思いやりで探究心を育む

株式会社チバダイス



自慢のプラスチック歯車。

## 国内外から頼られる研究所

歯車用金型、製品を生み出すチバダイス。

規模こそ大きくはないが、アジアで唯一研究委託を請け負えるプラスチックギアシステム研究所を備え、研究・開発という挑戦の伝統を進化させつつけている。

長年大学でプラスチック歯車の研究をしてきた武士俣貞助所長のもとには次々と社員がやってくる。彼らはいつもスピーディーに仕事をし、手の空いたときには大好きな開発のアイデアを持ち寄る。知識と現場の融合。こうして仕事につながっていったケースは

数知れない。なぜこれほどまでに社員の自主性があるのだろうか。

## 伝統の研究開発

秘密のひとつはチバダイス伝統の研究開発魂にある。40年前の創業時から特許出願・学会参加・展示会出展は当然のこととしてきた。チバダイスの開発した規格が現在も国内外で使われつつけている。

職場の雰囲気も昔から自由闊達だ。間食・雑談は自由。失敗を全否定しない楽しみながらの開発という気風がある。これらがチバダイスの研究開発を支えてきたのだ。

しかし、チバダイスの研究開発力は伝統ばかりによるわけではない。その伝統を受け継ぎ、さらに努力を重ねる千葉社長の姿があったからこそとも言える。

## 社長の努力

研究開発に力を入れるということとはそれだけ変動性というリスクが伴う。社員の不安も大きい。売り上げが4割下落したときに、社長は、「3年待つて欲しい」と社員に表明した。具体的な数字を示して呼びかけを行うのはとても勇

気があることだ。だが、社長は社員の不安を少しでも軽減すること優先して考えた。その結果、チバダイスはそのプライドと気質で見事その期間中に時代に対応し、現在の礎を築いた。

また、「よりよい開発を行っていくには社員同士に壁があつてはならない」という社長の考えが多能工化にもつながっている。これは製造にも好影響を及ぼし、モノに人がついていく生産でわずか3日間で射出成形歯車を製作する「スピードトライ」サービスを実現した。

近年つくった屋上のフットサル



屋上のフットサルコートにて。

コートからは毎日のように笑い声が聞こえ、今年の社員旅行は40周年の節目として海外旅行を企画と、福利厚生はかなり充実しているようだ。離職者も少なく、社員の満足度がわかる。

「もちろん文句がないわけではない。だがそれは真正面から受け止める。ただ若い人が昔ほど言わないのが心配だなあ」と千葉社長。

「日本が好き。歯車が好き。日本にいてできることを追及しつづけてい。いまの子が思いっきり力を発揮できるような環境をつくりたいんだ」社長の言葉には社員と歯車を思う気持ちがあふればかりに感じられた。

編集部・高野満里



常に意見をだしあう。中央が千葉社長。

## Company Profile

株式会社チバダイス

所在地：埼玉県八潮市大曾根 414

TEL: 048-997-6621 FAX: 048-997-6625

担当者：代表取締役 千葉 英樹

事業内容：金属・プラスチック歯車用金型、製品の製作

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?39088>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「チバダイス」で検索できます。

本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップ CD-ROM」にて、同社の工場技術動画をご紹介します！

(写真／引地信彦)